

參考資料

參考資料

1. 調查票

子どもの生活実態調査（保護者票）

ご記入にあたってのご注意

- この調査票を持ち帰ったお子さんの**保護者の方が**、お答えください。
- 設問中での「お子さん」とは、調査票を持ち帰ったお子さんを指します。
- この調査は**無記名**です。お名前をお書きいただく必要はありません。
- 回答は、質問番号の順番に、鉛筆か、黒または青のボールペンで、回答の番号に○をつけてください。お答えになりたくない質問には、**無回答のまま**、次の質問にお進みください。
- 「その他」に○をつけた場合は、() 内にその内容を具体的にご記入ください。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、**白色の封筒**に三つ折りにして入れ、封をしてください。封をしたアンケート用紙は、**9月28日（月）まで**に学校に提出してください。
- 回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

この調査は、大田区が実施しています*。学校は、配布と回収のみご協力いただいています。調査に関するお問い合わせ、ご意見などは、以下の大田区役所の担当までお願いいたします。

お問合せ電話番号：03-5744-1244（大田区福祉部福祉管理課）（月～金 9:00～17:00）

*調査票は、東京都立大学阿部彩教授が監修しています。

★この調査に賛同・協力できますか。できない場合は、下の欄にチェックを入れてください。

この調査に賛同・協力することはできません。

→チェックを入れた方は以下の質問に回答する必要はありません。白色の封筒に三つ折りにして入れ、封をしてください。

あなたのこと、あなたの世帯のことについてうかがいます。

(1) お子さんとあなた（回答者）との関係は、以下のどれになりますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | | |
|---|--------------------|-------|-------|
| 1. 父親 | 2. 母親 | 3. 祖父 | 4. 祖母 |
| 5. 兄弟姉妹 | 6. その他（具体的に _____） | | |
| 7. 施設職員（→施設職員の方は以後の設問に対して、回答できる範囲で回答して下さい。） | | | |

(2) あなたの年齢を教えてください。（枠内に数字で回答してください）



歳

(3) 現在の婚姻状況を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 結婚している (事実婚を含む)	2. 離婚 (別居中を含む)
3. 死別	4. 未婚・非婚

(4) お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください。あなたとお子さんも含みます。

(枠内に数字で回答してください)

※単身赴任している家族も含みます。

	人
--	---

(5) お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。それぞれ、人数も教えてください。お子さんと兄弟姉妹については、年齢も教えてください。

(あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中、お子さんと兄弟姉妹の年齢は四角の中に、数字で回答してください)

※単身赴任している家族も含みます。

1. 父親	2. 母親	3. 祖父 (人)	4. 祖母 (人)
5. 兄 (人)	6. 姉 (人)	7. 弟 (人)	8. 妹 (人)
9. その他の親せき (人)	10. その他 (人)		

お子さんと兄弟姉妹の年齢 (宛名のお子さんを含めて、上から順番に) ※2020年4月1日現在

1 番目	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳	2 番目	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳	3 番目	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳	4 番目	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳	5 番目	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳
6 番目	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳	7 番目	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳	8 番目	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳	9 番目	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳	10 番目	<input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> 歳

(6) あなたのご家族の中に、あなたが主に世話をしている人で、以下のような方はいますか。同居していないご家族についても含めてお考えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢で介護が必要な方	2. 身体障害者手帳をお持ちの方
3. 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方	4. 愛の手帳をお持ちの方
5. 発達障がいをお持ちの方 (疑いを含む)	6. 定期的な通院等が必要な疾患をお持ちの方
7. 精神疾患をお持ちの方 (うつ、心の病、依存症など)	8. 引きこもりの方
9. 特に該当する人はいない	

(7) お子さんのお母さま・お父さまの国籍について教えてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

① お子さんのお母さま	1. 日本国籍	2. 外国籍
② お子さんのお父さま	1. 日本国籍	2. 外国籍

(8) あなたのご家庭ではふだんどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 日本語のみを使用している	2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3. 日本語以外の言語を使うことが多い	

お子さんのお母さまとお父さまの職業についてうかがいます。

(9) お子さんの①お母さまと②お父さま、それぞれのご職業について、(A) 新型コロナウイルス感染症拡大前(2020年2月頃)のご職業と、(B) 現在のご職業を、以下の選択肢から最も近いものをお選びください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

※現在お子さんにお母さまがいらっしゃらない場合は②のみ、お父さまがいらっしゃらない場合には①のみお答えください。どちらもいらっしゃらない場合は(11)へお進みください。

		会社役員・ 常勤・正規職員・ パート・アルバイト・ 非正規職員	自営業・家業	その他の職業	家事専業	学生	その他	わからない	
①お母さまの	(A) 新型コロナウイルス感染症拡大前(2月頃)	1	2	3	4	5	6	7	8
	(B) 現在	1	2	3	4	5	6	7	8
②お父さまの	(A) 新型コロナウイルス感染症拡大前(2月頃)	1	2	3	4	5	6	7	8
	(B) 現在	1	2	3	4	5	6	7	8

(9-1) (9) で現在のご職業について「1」から「4」を選んだ方にうかがいます。

お子さんの①お母さまと②お父さまは、平日の日中以外の勤務もありますか。通勤時間も含めてお考えください。(それぞれ、あてはまる番号すべてに○)

	(5~8時) 早朝	18~20時の勤務	(20~22時) 夜勤	(22~5時) 深夜勤務	土曜出勤	日曜・祝日出勤	平日の日中以外の勤務はない
①お母さま	1	2	3	4	5	6	7
②お父さま	1	2	3	4	5	6	7



(10) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、お子さんの①お母さまと②お父さまは、以下のようなことを経験しましたか。(それぞれ、あてはまる番号すべてに○)

	転職 希望 しない 形での	失業	勤務先 の増加 (ダブル ワーク 等)	勤務 形態 の 変化	労働 時間 の 減少	希望 しない 時間 帯・ 曜日 での 勤務	収入 の 減少	左記 のよ うな こと は 経験 して いな い
①お子さんのお母さま	1	2	3	4	5	6	7	8
②お子さんのお父さま	1	2	3	4	5	6	7	8

お子さんのことについてうかがいます

(11) お子さんの身長・体重を教えてください。(枠内に数字で回答してください)

身長	() センチ
体重	() キログラム
測った月	西暦 () 年 () 月ごろ測定

(12) お子さんは、今、虫歯がおおよそ何本くらいありますか。治療中のものも含みます。
(枠内に数字で回答してください)

※虫歯がない場合は、0本と書いてください。治療が終わったものは数えません。

本

(13) お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 中学まで	2. 高校まで
3. 短大・高専・専門学校	4. 大学またはそれ以上
5. まだわからない	

あなたとお子さんの健康状態についてうかがいます

(14) あなたの健康状態について、最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

1. よい	2. どちらかといえばよい	3. 普通
4. どちらかといえばよくない	5. よくない	



(15) 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

1. あった	2. なかった
--------	---------

(15 - 1) (15) で「1. あった」を選んだ方にうかがいます。

その理由は、何ですか。以下の中からお選びください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
2. 医療費の支払いが不安だったため
3. 子ども本人が受診しなかったため
4. 医療機関まで遠かったため
5. 多忙だったため
6. 子どもの体調などで後回しにしていたら受診の機会を逃したため
7. 自分の健康状態が悪かったため
8. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で医療機関への外出を控えたため
9. どれにもあてはまらない

(16) 次のそれぞれの質問について、あなたは、過去1か月の間にどのように感じましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
A 自分が神経過敏になっていると感じましたか	1	2	3	4	5
B 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
C そわそわしたり、落ちつきなく感じたりしましたか	1	2	3	4	5
D 気分が沈みこんで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
E 何をするのも骨折りと感じましたか	1	2	3	4	5
F 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

子育てにかかる費用についてうかがいます

(17) この調査票を持ち帰ったお子さんについて、次のA～Cの費用は、毎月いくらかかっていますか。おおよその平均的な金額を教えてください。(枠内に数字で回答してください)

この調査票を持ち帰ったお子さんの：	1ヵ月あたり費用	
A 塾など、学校外でかかる教育費	約	円
B 習い事・スポーツクラブ・クラブ活動費	約	円
C (このお子さんの) 携帯・スマートフォンの代金	約	円

(18) あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金の 1 回あたりの支給額はいくらですか。
(枠内に数字で回答してください)

※該当する収入がない場合には、0 とご記入ください。

※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含まれます。

		1 回あたり金額
A 児童手当	所得が一定水準以下の、中学校修了前のお子さんの保護者に対して、お子さんの年齢・人数に応じて <u>4 か月に 1 回</u> 支払われる補助金。窓口は区の子育て支援窓口。	(4 か月分) 円
B 児童育成手当	所得が一定水準以下のひとり親等世帯に対して、お子さんの人数に応じて <u>4 か月に 1 回</u> 支払われる補助金。窓口は区の子育て支援窓口。	(4 か月分) 円
C 児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親世帯に対して、所得額とお子さんの人数に応じて <u>2 か月に 1 回</u> 支払われる補助金。窓口は区の子育て支援窓口。	(2 か月分) 円
D 特別児童扶養手当	所得が一定水準以下の、20 歳未満で精神又は身体に障がいをもつお子さんの保護者に対して、お子さんの障がいの程度と人数に応じて <u>4 か月に 1 回</u> 支払われる補助金。窓口は区の子育て支援窓口。	(4 か月分) 円
E 年金	遺族年金、障害年金、老齢年金など、 <u>2 か月に 1 回</u> 支払われます	(2 か月分) 円
F 生活保護費	病気や失業などのため、生活費や医療費に困り、ほかに方法がないときは一定の条件により、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の 8 種類について援助が受けられる制度。窓口は区的生活福祉課。	(1 か月分) 円

(19) 上記 (18) で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。

お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、昨年 (2019 年 1 月～12 月) のおおよその年間収入 (税込) はいくらですか。以下の選択肢からお選びください。(あてはまる番号 1 つに○)

※収入には、勤労収入 (パート、アルバイトを含む)、事業収入 (自営業等)、農業収入、不動産収入、
利子・配当金、個人年金を含みますが、上記 (18) で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は
除いてお考えください。

※複数の収入源がある場合 (お父さまが勤労収入、お母さまに事業収入など) は、おおよその合算値 (合計額) を教えてください。

1. 収入はない (0 円)	2. 1～50 万円未満	3. 50～100 万円未満
4. 100～150 万円未満	5. 150～200 万円未満	6. 200～250 万円未満
7. 250～300 万円未満	8. 300～350 万円未満	9. 350～400 万円未満
10. 400～450 万円未満	11. 450～500 万円未満	12. 500～550 万円未満
13. 550～600 万円未満	14. 600～650 万円未満	15. 650～700 万円未満
16. 700～750 万円未満	17. 750～800 万円未満	18. 800～850 万円未満
19. 850～900 万円未満	20. 900～950 万円未満	21. 950～1000 万円未満
22. 1000 万円以上	23. わからない	

(20) 新型コロナウイルス感染症拡大による収入の変化についてお聞きします。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令前と、緊急事態宣言発令後を比べて、お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、月間収入（税込）の合計は、最大でどれくらい変わりましたか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|---------------|--------------------|---------------|
| 1. 増加した | 2. 変わらなかった | 3. 1割程度減少した |
| 4. 2～3割程度減少した | 5. 4～5割程度減少した | 6. 6～7割程度減少した |
| 7. 8～9割程度減少した | 8. 10割減少した（ゼロになった） | 9. わからない |

(21) あなたのご家庭では、就学援助費を受けていますか。（あてはまる番号1つに○）

※就学援助制度は、所得が一定以下の世帯に対し、給食費等学校でかかる費用の一部を援助する制度です。

- | | |
|-----------|-------------------------|
| 1. 受けている | ⇒ (21-1) に回答した上で (22) へ |
| 2. 受けていない | ⇒ (21-2) に回答した上で (22) へ |
| 3. わからない | ⇒ (22) へ |

(21 - 1) (21) で「1. 受けている」を選んだ方にうかがいます。

就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、差が大きいものは何の経費ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|-----------|----------|------------|
| 1. 学用品費 | 2. 校外授業費 | 3. 移動教室参加費 |
| 4. クラブ活動費 | 5. その他 | |

(21 - 2) (21) で「2. 受けていない」を選んだ方にうかがいます。

受けていない理由は、何ですか。（あてはまる番号1つに○）

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった） |
| 2. 申請しなかった（必要であるが、申請の仕方がわからなかった） |
| 3. 申請しなかった（必要ないと判断した） |
| 4. 申請したが、認定されなかった |
| 5. 就学援助制度を知らなかった |
| 6. その他（具体的に： _____) |



お子さんとのかわりについてうかがいます

(22) あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	めったにない・理由があつてできない
A お子さんの勉強をみる	1	2	3	4	5
B お子さんとからだを動かして遊ぶ	1	2	3	4	5
C お子さんと学校生活の話をする	1	2	3	4	5

(23) あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をすることがありますか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	ある	ない (金銭的な理由で)	ない (時間の制約で)	ない (その他の理由で)
A 海水浴に行く	1	2	3	4
B 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
C キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
D スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4

(24) 大田区においては、3月から5月末まで、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、公立小学校は臨時休業となりました。これによるお子さんへの影響にはどのようなものがありましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
A お子さんの学力が低下した	1	2	3	4	5
B お子さんの体力が低下した	1	2	3	4	5
C お子さんがゲームやスマホをみる時間が増えた	1	2	3	4	5
D お子さんが一人でいる時間が多すぎた	1	2	3	4	5
E お子さんが落ち込んだ	1	2	3	4	5
F お子さんが不安を感じていた	1	2	3	4	5
G お子さんが寂しそうだった	1	2	3	4	5
H お子さんがイライラしていた	1	2	3	4	5
I お子さんと過ごす時間が増えた	1	2	3	4	5
J お子さんと話す時間が増えた	1	2	3	4	5
K お子さんに手をあげたり、きつくしかったりした	1	2	3	4	5
L 家庭内でのストレスが高まった	1	2	3	4	5
M 家庭内で暴力が増えた	1	2	3	4	5

あなたのご家庭での生活についてうかがいます

(25) 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. 普通 |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(26) ご家庭の家計について、もっとも近いものをお答えください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 赤字であり、借金をして生活している | 2. 赤字であり、貯蓄を取り崩している |
| 3. 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである | 4. 黒字であるが、貯蓄はしていない |
| 5. 黒字であり、毎月貯蓄をしている | 6. その他(具体的に) |

(27) あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

(28) あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類が買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

(29) あなたのご家庭では、過去1年の間に、経済的な理由のために以下のA～Gを支払えないことがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	あった	なかった	該当しない (払う必要がない)
A 電話料金	1	2	3
B 電気料金	1	2	3
C ガス料金	1	2	3
D 水道料金	1	2	3
E 家賃	1	2	3
F 住宅ローン	1	2	3
G その他の債務	1	2	3

(29 - 1) (29) で一つでも「あった」を選んだ方にうかがいます。

上記のような料金等が支払えないことがあったのは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う収入減少によるものですか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 新型コロナウイルス感染症拡大による収入減少によるもの |
| 2. それ以外の理由によるもの |

(30) 新型コロナウイルス感染症の拡大による大田区立小学校の臨時休業期間中、あなたのご家庭の家計の状況として、次のようなものは増えましたか、減りましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	とても 増えた	少し 増えた	変わら ない	少し 減った	とても 減った	そもそ もない
A 食費	1	2	3	4	5	6
B 水道光熱費	1	2	3	4	5	6
C 通信費	1	2	3	4	5	6
D 日用品費（衛生用品含む）	1	2	3	4	5	6
E 子どもの教材費（オンライン教材含む）	1	2	3	4	5	6
F 子どもの遊具費	1	2	3	4	5	6
G 娯楽費	1	2	3	4	5	6
H 赤字	1	2	3	4	5	6
I 借金	1	2	3	4	5	6

(31) あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。AからIについて、「1 している」「2 していないが、したくない（方針ではない）」「3 していないが、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	している	していない	
		したくない (方針ではない)	経済的に できない
A 毎月おこづかいを渡す	1	2	3
B 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	1	2	3
D 学習塾に通わせる	1	2	3
E お誕生日のお祝いをする	1	2	3
F 1年に1回程度家族旅行に行く	1	2	3
G クリスマスのプレゼントをあげる	1	2	3
H 正月のお年玉をあげる	1	2	3
I 子どもの学校行事などに親が参加する	1	2	3



(32) 次のうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものがありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもの年齢に合った本 2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ 3. 子ども用の自転車 4. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所 5. オンラインでの学習に使えるパソコン・タブレット 6. スマートフォン 7. 急な出費のための貯金（5万円以上） 8. あてはまるものはない
--

(33) あなたは、近所づきあいをどの程度していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いつでも気軽に頼んだり、相談できる人がいる 2. いざというときは頼んだり、相談できる人がいる 3. 顔をあわせれば雑談などをする人がいる 4. 挨拶する程度のつきあいの人がいる 5. 顔は知っているが話したことがない 6. ほとんど顔も知らない 7. その他 ()

(34) あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人（家族、友人、親戚、同僚など）がいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる 2. いない

(35) あなたは、次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	いる	いない	人そのことに頼らない場合は
A 子どもの世話や看病	1	2	3
B (子ども以外の) 介護や看病	1	2	3
C 重要な事柄の相談	1	2	3
D いざという時のお金（1万円程度）の援助	1	2	3
E いざという時のお金（10万円程度）の援助	1	2	3
F 家を借りる時の保証人を頼むこと	1	2	3

お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験についてうかがいます
 ⇒ 回答者がお母さま・お父さまでない場合は、(41)にお進みください。

(36) お子さんの①お母さまと②お父さまが、最後に通った学校は次のどちらにあたりますか。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

※現在お子さんにお母さまがいらっしゃらない場合は②のみ、お父さまがいらっしゃらない場合には①のみお答えください

	中学校	高等学校	高等専門学校	専修学校・ 各種学校	短期大学	大学・大学院	その他	わからない
①お子さんのお母さま	1	2	3	4	5	6	7	8
②お子さんのお父さま	1	2	3	4	5	6	7	8

(36-1) (36)でお子さんのお母さまについて、「1」から「7」を選んだ方にうかがいます。

お子さんのお母さまは、(36)で答えた学校を卒業されましたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 卒業した 2. 中途退学した 3. その他(具体的に)

(36-2) (36)でお子さんのお父さまについて、「1」から「7」を選んだ方にうかがいます。

お子さんのお父さまは、(36)で答えた学校を卒業されましたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 卒業した 2. 中途退学した 3. その他(具体的に)

(37) あなた(回答者)が15歳の頃のご家庭の暮らし向きについて最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 大変苦しかった 2. やや苦しかった 3. 普通
 4. ややゆとりがあった 5. 大変ゆとりがあった

(38) あなた(回答者)は、成人する前に下記のような体験をしたことがありますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

1. 両親が離婚した 2. 親が生活保護を受けていた
 3. 母親が亡くなった 4. 父親が亡くなった
 5. 親から暴力を振るわれた 6. 親が精神疾患(うつ、心の病、依存症など)を患った
 7. 1~6のいずれも経験したことがない



(39) あなたは、子育てにかかわってから以下のような経験をしたことがありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. (元) 配偶者またはそれに相当するパートナーから暴力をふるわれたことがある
2. 子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある
3. 育児放棄になった時期がある
4. 出産や育児でうつ病になった時期がある
5. わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある
6. 自殺を考えたことがある
7. 1～6のいずれも経験したことがない

公的支援の利用状況についてうかがいます

(40) あなたは、子どもに関する施策等の情報を (A) 現在どういう形で受け取っていますか。

また、(B) 今後どのような形で受け取りたいですか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号すべてに○)

(A) 現在の受け取り方法

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 区報 | 2. 区のホームページ |
| 3. SNS (LINE、ツイッターなど) | 4. 学校からのチラシ |
| 5. その他 (具体的に) | |

(B) 今後希望する受け取り方法

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1. 区報 | 2. 区のホームページ |
| 3. SNS (LINE、ツイッターなど) | 4. 学校からのチラシ |
| 5. その他 (具体的に) | |

(41) あなたは、困ったときに以下の公的機関に相談しますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	相談する	場合によっては 相談する	相談しない
A 区役所の窓口	1	2	3
B 子ども家庭支援センター	1	2	3
C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど	1	2	3
D 民生委員・児童委員	1	2	3
E 区の社会福祉協議会	1	2	3
F 保健所	1	2	3
G ハローワーク	1	2	3
H インターネットの相談サイト	1	2	3
I 上記以外の公的機関	1	2	3



(42) 以下のA～Jの支援制度に関して、①これまでに利用したことがあるか、②利用したことがない場合はその理由、③現在制度を利用することに興味があるか、について教えてください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

※各支援制度の内容については、次のページをご覧ください。

※①で利用したことが「ある」方は、次に③に回答してください。

※①で利用したことが「ない」方は、②で理由について回答した上で、③に回答してください。

なお、利用したことがない理由については、以下の中から、もっともあてはまる記号に○をつけてください。

※制度の対象外であった場合にはアを選択してください。

ア) 利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)

イ) 利用したかったが、条件を満たしていなかった

ウ) 利用時間や制度が使いづらかった

エ) 利用の仕方がわからなかった

オ) 制度について全く知らなかった

①で「ある」方は③へ ①で「ない」方は②に回答の上③へ		①利用した ことが…	②利用しなかった 理由(1つを選択)	③現在利用 することに 興味が…
生活 支援	A 生活福祉資金	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	B 生活保護	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
主 に ひ と り 親 世 帯 に 対 す る 支 援	C 母子及び父子福祉資金	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	D 児童扶養手当	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	E 児童育成手当	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 に 関 連 す る 経 済 的 支 援	F 特別定額給付金	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	G 新型コロナウイルス感染症に係る緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	H 住居確保給付金	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	I ひとり親世帯臨時特別給付金	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	J 新型コロナウイルスに伴う国民健康保険加入者に対する傷病手当金	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない



<参考>

生活支援	A 生活福祉資金	所得が一定水準以下の世帯を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は区の社会福祉協議会。
	B 生活保護	病気や失業などのため、生活費や医療費に困り、ほかに方法がないときは一定の条件により、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の8種類について援助が受けられる制度。窓口は区的生活福祉課。
主にひとり親世帯に対する支援	C 母子及び父子福祉資金	ひとり親世帯を対象にした、低利または無利子の資金貸付。窓口は区的生活福祉課。
	D 児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親世帯の支援のための補助金。窓口は区の子育て支援窓口。
	E 児童育成手当	所得が一定水準以下のひとり親等世帯の支援のための補助金。窓口は区の子育て支援窓口。
新型コロナウイルス関連する経済的支援	F 特別定額給付金	すべての方を対象に1人あたり10万円を、世帯単位で給付。区から世帯主の方に郵送された申請書類に必要事項を記入して返送するか、マイナンバーカードを活用してオンラインで申請。
	G 新型コロナウイルス感染症に係る緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付	新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活資金にお困りの方を対象とした、最大20万円の無利子貸付。大田区社会福祉協議会に郵送で申請。
	H 住居確保給付金	離職・廃業、もしくは新型コロナウイルス感染症の影響で収入が低下し住居を失った（または失うおそれのある）方に対し、家賃額を給付。大田区生活再建・就労サポートセンターJOBOTAで申請。
	I ひとり親世帯臨時特別給付金	対象者は、(1)2020年6月分の児童扶養手当受給者、(2)公的年金等の受給による2020年6月分児童扶養手当支給全額停止者、(3)新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が児童扶養手当受給と同水準になっている方、(4)上記(1)(2)のうち新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し収入が減少した方。(1)～(3)については1世帯5万円・第2子以降ひとりにつき3万円、(4)1世帯5万円を給付。(1)は児童扶養手当を受給している口座に振り込まれるため申請は不要、(2)～(4)は要申請。
	J 新型コロナウイルスに伴う国民健康保険加入者に対する傷病手当金	国民健康保険加入者に対し、新型コロナウイルス感染症に感染（疑い含む）のため一定期間欠勤し、給与の全部または一部が支給されない方を対象に傷病手当金を支給。区の国保年金課に郵送で申請。



(43) 以下のK～Qの支援制度に関して、①これまでに利用したことがあるか、②利用したことがない場合はその理由、③現在制度を利用することに興味があるか、について教えてください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

※①で利用したことが「ある」方は、次に③に回答してください。

※①で利用したことが「ない」方は、②で理由について回答した上で、③に回答してください。

なお、利用したことがない理由については、以下の中から、もっともあてはまる記号に○をつけてください。

- ア) 利用したいと思ったことがなかった
- イ) 利用したかったが、条件を満たしていなかった
- ウ) 利用時間や制度が使いづらかった
- エ) 利用の仕方がわからなかった
- オ) 制度について全く知らなかった

①で「ある」方は③へ ①で「ない」方は②に回答の上③へ		①利用した ことが…	②利用しなかった 理由 (1つを選択)	③現在利用 することに 興味が…
子育て支援	K ファミリー・サポート おおた	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	L 子育て短期支援事業 (ショートステイ)	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	M 子育てひろば (キッズな)	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	N (NPOなどによる) 子ども食堂	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	O フードバンクによる 食料支援	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
学習支援	P 学校が実施している 補講 (学習支援)	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
	Q NPOなどによる学校以外 が実施する学習支援	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない

<参考>

K ファミリー・サポート おおた	育児のお手伝いをしてほしい方 (利用会員) と育児のお手伝いをしたい方 (提供会員) の両者を登録して、援助活動により仕事と育児の両立や、子育てする家庭にゆとりを持っていただけるよう支援する制度。
L 子育て短期支援事業 (ショートステイ)	入院、出産、介護などで、一時的にお子さんの養育にお困りのとき、児童福祉施設で子どもを預かる制度。
M 子育てひろば (キッズな)	0歳から3歳のお子さんと保護者の方が、親子でゆったり過ごしながら、子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場所。
N 子ども食堂	子どもたちの食の支援、居場所の支援等を目的に、無料または格安で食事を提供している場所。
O フードバンク	「食料銀行」を意味するもので、まだ食べられるのに様々な理由で処分されてしまう食品を食べ物に困っている施設や人に届ける活動のこと。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



こ せいかつじったいちょうさ こ ひょう
子どもの生活実態調査（子ども票）

ねが
お願い

- これは、**大田区の子どもの夢や悩み、生活状況**などを調べるためのアンケートです。
- この調査は、**お子さん（あなた）が自分で書いてください。**回答の中身が、先生に見られることはありません。
- 全部書き終わったら、自分で、**黄色の封筒**に入れてテープでとじてください。
封筒に入れてとじたら、**9月28日（月）まで**に学校に提出してください。
- 名前は、書かないでください。
- **答えたくない質問は、答えなくてよいです。**自分の思う答えを書いてください。**答えが思いうかばない場合や答えたくない質問は、答えずに、次に進んでください。**
- それぞれの質問について、**次の例のようなかたちで**教えてください。

例1 あなたの**考え**について教えてください。

(1) 本を読むことは好きですか。(あてはまる**番号1つに○**)

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

(2) スポーツをすることは好きですか。(あてはまる**番号1つに○**)

1. あてはまる 2. まああてはまる 3. あまりあてはまらない 4. あてはまらない

例2 次のうち、あなたが飼っている**生物**を教えてください。(あてはまる**番号すべてに○**)

1. イヌ 2. ネコ 3. ウサギ 4. とり 鳥

5. さかな 魚 6. ハムスター 7. その他（カメ） 8. 生物は飼っていない
- **答えは、あてはまる番号に○印をつけるか、文章で書いてください。**
- ○印のつけかたは、**質問文の終わりに「あてはまる番号1つに○」や「あてはまる番号すべてに○」**などと書いてありますので、それにしがってください。

この調査は、大田区が実施しています。**学校は、配布と回収のみご協力**いただいています。調査に関するお問い合わせ、ご意見などは、以下の大田区役所の担当までお願いいたします。

お問い合わせ電話番号：03-5744-1244（大田区福祉部福祉管理課）（月～金9:00～17:00）



あなたのことについておたずねします

(1) あなたの性別について、あてはまるものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------|-------|-----------------|
| 1. 男子 | 2. 女子 | 3. 答えたくない・わからない |
|-------|-------|-----------------|

(2) あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ある場合は「ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「ほしい」、いらないと思うものであれば「ほしくない」に○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	ある	ない	
		ほしい	ほしくない
A 自分だけの本 (学校の教科書やマンガはのぞく)	1	2	3
B 子ども部屋 (きょうだいと使っている場合も含みます)	1	2	3
C 自分が使うことができるスマートフォン・タブレット	1	2	3
D 自宅で宿題をすることができる場所	1	2	3
E 自分専用の勉強机	1	2	3
F スポーツ用品 (野球のグローブや、サッカー・ボールなど)	1	2	3
G ゲーム機	1	2	3
H たいていの友だちが持っているおもちゃ	1	2	3
I 自転車	1	2	3
J おやつや、ちょっとしたおもちゃをかうおこづかい	1	2	3
K 友だちが着ているのと同じような服	1	2	3
L 2足以上のサイズのあった靴	1	2	3

あなたの友だちのことについておたずねします

(3) あなたの一番仲が良い友だちは、どのような友だちですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------------------|
| 1. 学校の友だち | 2. 学校はいっしょではないけれども、近所に住んでいる友だち |
| 3. スポーツ・チームやクラブ活動の友だち | 4. そのほかの友だち |
| 5. とくに仲の良い友だちはいない | |



(4) あなたと友だちのかんけいについて、どのようにおもいますか。もっとも近いものに○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	とても そう思う	そう思う	あまり おも 思わない	そう おも 思わない
A 友だちといっしょにたくさん遊んでいると思う	1	2	3	4
B 友だちと仲良くしていると思う	1	2	3	4
C 友だちに好かれていると思う	1	2	3	4

あなたの普段の生活についておたずねします

(5) あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)はだれと過ごしますか。一番多く過ごす人に○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 家族(おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなども含みます)
2. 家族以外の大人(近所の大人、塾や習い事の先生など)
3. 学校の友だち
4. 学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど)
5. 学童保育、その他の施設の先生
6. 一人である

(6) あなたは、平日(学校に行く日)の放課後(夕方6時くらいまで)、どこで過ごしていますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	まいにち 毎日	しゅう 週に 3~4日	しゅう 週に 1~2日	す 過ごさない
A 自分の家	1	2	3	4
B 友だちの家	1	2	3	4
C 塾や習い事	1	2	3	4
D 児童館(学童保育含む)	1	2	3	4
E 学校(放課後校庭開放、放課後子ども教室など)	1	2	3	4
F 図書館	1	2	3	4
G スポーツクラブの活動の場(野球場、サッカー場など)	1	2	3	4
H 公園	1	2	3	4
I 商店街やショッピングモール	1	2	3	4
J ゲームセンター	1	2	3	4
K その他(具体的に)	1	2	3	4

(7) あなたは、学校の「放課後子ども教室」を利用していますか。

「していない」場合、(A) これまでに利用したことはありますか。また、(B) 今後利用したいと思いませんか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

利用していますか		
1. している	(A) 利用したことがありますか	(B) 今後利用したいと思いませんか
2. していない	1. したことがある 2. したことがない	1. したい 2. したいけどできない 3. したくない

(7-1) 学校の「放課後子ども教室」を利用「していない」と答えた人におききます。
利用しない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 学校で実施されていないから | 2. 家の用事(家族の世話、家事など)があるから |
| 3. 塾や習い事が忙しいから | 4. 放課後子ども教室がおもしろくないから |
| 5. 放課後子ども教室に友だちがいないから | 6. 放課後子ども教室のことを知らないから |
| 7. 親が登録していないから | 8. 参加する必要がないと思うから |
| 9. 友だちと別の場所で遊びたいから | 10. 学童があるから |
| 11. その他(具体的に |) |

(8) あなたは、休日(学校がお休みの日)の午後はだれと過ごしますか。一番多く過ごす人に○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 家族(おじいちゃん・おばあちゃん、親せきなども含みます) |
| 2. 家族以外の大人(近所の大人、塾や習い事の先生など) |
| 3. 学校の友だち |
| 4. 学校以外の友だち(地域のスポーツクラブ、近所の友だちなど) |
| 5. その他の施設の先生など |
| 6. 一人である |



(9) あなたは、休日（学校がお休みの日）の午後、どこで過ごしますか。一番多く過ごす場所に○をつけてください。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1. 自分の家 | 2. 友だちの家 |
| 3. 塾や習い事 | 4. 児童館 |
| 5. 図書館 | 6. スポーツクラブ（サッカー、野球など） |
| 7. 公園 | 8. 商店街・ショッピングモール |
| 9. ゲームセンター | 10. その他（具体的に |

(10) あなたは、以下の活動をふだんどれくらいしますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	毎日			1週間に	1週間に	1週間に	ほとんど しない
	2時間以上	1～2時間	1時間以下	4～5日	2～3日	1日	
A ゲームで遊ぶ（パソコン・スマホ・タブレットを用いたゲームを含む）	1	2	3	4	5	6	7
B テレビや動画を見る（パソコン・スマホ・タブレットで見るものを含む）	1	2	3	4	5	6	7
C 本・漫画・雑誌・新聞を読む（パソコン・スマホ・タブレットで読むものを含む）	1	2	3	4	5	6	7
D 室内でのほかの活動	1	2	3	4	5	6	7
E 公園で遊ぶ	1	2	3	4	5	6	7
F 家事（洗濯、掃除、調理、片付けなど）	1	2	3	4	5	6	7
G 兄弟姉妹など家族の世話	1	2	3	4	5	6	7

(11) あなたは、30分以上からだを動かす遊びや習い事は、1週間でどれくらいしますか。

（あてはまる番号1つに○）

※例：ボール遊び、自転車、サッカー、野球、空手、剣道、体操、バレエ、水泳など

- | |
|---|
| 1. ほとんどしない・全くしない（理由があってやっていない） |
| 2. 1～2回 3. 3～4回 4. 5～6回 5. 7回・ほぼ毎日 |

(12) あなたは、この1か月の間に本を何冊くらい読みましたか。（あてはまる番号1つに○）

※自宅以外で読んだ本も数えてください。

※パソコンやタブレット、スマートフォンなどで読める本（電子書籍）も数えてください。

※雑誌やマンガは、内容に関わらず、数に含めないでください。

- | | | |
|-----------|----------|----------|
| 1. 読まなかった | 2. 1冊 | 3. 2～3冊 |
| 4. 4～7冊 | 5. 8～11冊 | 6. 12冊以上 |

(13) 新型コロナウイルス感染症の流行によって、多くの人の生活がいろいろな変化を迎えました。この質問

では、小学校休校中にあなた自身の生活がどのように変わったかおたずねします。

流行の前と比べて、次の項目のようなことをする機会は増えましたか、減りましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	とても 増えた	少し 増えた	変わらない	少し 減った	とても 減った	そもそも していない
A パソコンやタブレットを使ってオンラインで勉強すること	1	2	3	4	5	6
B 朝・昼・夕と三食しっかり食べること	1	2	3	4	5	6
C 朝ねぼうをすること	1	2	3	4	5	6
D 運動をすること	1	2	3	4	5	6
E 親にしかられること	1	2	3	4	5	6
F 親にほめられること	1	2	3	4	5	6
G 親と話をする事	1	2	3	4	5	6
H 電話やSNSで友だちと交流すること	1	2	3	4	5	6
I ひとりだけで時間を過ごすこと	1	2	3	4	5	6
J 不安だったこと	1	2	3	4	5	6
K さみしいと感じたこと	1	2	3	4	5	6
L 学校に行きたいと思ったこと	1	2	3	4	5	6
M 友だちに会いたいと思ったこと	1	2	3	4	5	6

(14) あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 親	2. きょうだい
3. 祖父母など	4. 学校の先生
5. 学校の友達	6. 学校外の友達
7. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	8. ネットで知り合った人
9. その他の大人(学童保育所の人、塾・習い事の先生、地域の人など)	
10. その他(具体的に	11. だれにも相談できない、相談したくない



食事のことや健康のことについておたずねします

(15) あなたは、平日（学校に行く日）に毎日、朝ごはんを食べますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. いつも食べる（週に5日） | 2. 食べるほうが多い（週に3,4日） |
| 3. 食べないほうが多い（週に1,2日） | 4. いつも食べない |

(16) あなたは、平日（学校に行く日）に朝ごはんをだれと食べますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 家族（親） | 2. 家族（きょうだい） |
| 3. 家族（おじいちゃん・おばあちゃんなど） | 4. 家族以外の人 |
| 5. 一人で食べる | 6. 朝ごはんは食べない |

(17) あなたは、給食を除いて、以下の食べ物をふだんどれくらい食べますか。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	毎日食べる	1週間に 4～5日	1週間に 2～3日	1週間に 1日以下	食べない
A 野菜	1	2	3	4	5
B くだもの	1	2	3	4	5
C 肉か魚	1	2	3	4	5

(18) あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。（あてはまる番号1つに○）

1. よい 2. どちらかといえばよい 3. ふつう 4. どちらかといえばよくない 5. よくない

学校のことや勉強のことについておたずねします

(19) あなたは、学校の授業がわかりますか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|---------------|--------------|-------------|
| 1. いつもわかる | 2. だいたいわかる | 3. あまりわからない |
| 4. わからないことが多い | 5. ほとんどわからない | |

(19-1) 「あなたは、学校の授業がわかりますか」で「3. あまりわからない」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」と答えた人におききます。

いつごろから、授業がわからなくなりましたか。（あてはまる番号1つに○）

- | | | |
|-----------|--------------|-----------|
| 1. 1年生のころ | 2. 2年生のころ | 3. 3年生のころ |
| 4. 4年生のころ | 5. 5年生になってから | 6. わからない |

(20) あなたの^{がっこうせいかつ}学校生活についておたずねします。次の項目^{つぎ こうちく}について、「とても^{たの}楽しみ」から「楽しみではな^{たの}い」のうち、もっとも近いもの^{ちか}に○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号^{ばんごう}1つに○)

	とても たの 楽しみ	たの 楽しみ	少したの 楽しみ	たの 楽しみでは ない
A ^{さんすう} 算数の授業 ^{じゆぎよう}	1	2	3	4
B ^{こくご} 国語の授業 ^{じゆぎよう}	1	2	3	4
C ^{りか} 理科の授業 ^{じゆぎよう}	1	2	3	4
D ^{しゃかい} 社会の授業 ^{じゆぎよう}	1	2	3	4
E ^{たいいく} 体育の授業 ^{じゆぎよう}	1	2	3	4
F ^{ず がこうさく} 図画工作の授業 ^{じゆぎよう}	1	2	3	4
G ^{おんがく} 音楽の授業 ^{じゆぎよう}	1	2	3	4
H ^{かてい} 家庭の授業 ^{じゆぎよう}	1	2	3	4
I ^{がいこくご} 外国語の授業 ^{じゆぎよう}	1	2	3	4
J ^{どうとく} 道徳の授業 ^{じゆぎよう}	1	2	3	4
K ^{せんせい} 先生に会うこと ^あ	1	2	3	4
L ^{がっこう} 学校の友だちに会うこと ^{とも あ}	1	2	3	4
M ^{がっこう} 学校のクラブ活動 ^{かつどう}	1	2	3	4
N ^{がっこう} 学校の休み時間 ^{やす じかん}	1	2	3	4
O ^{がっこう} 学校の給食の時間 ^{きゆうしょく じかん}	1	2	3	4

(21) 勉強^{べんきよう}がわからないときは、誰^{だれ}に教えてもらいますか。(あてはまる番号^{ばんごう}すべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1. お母さんかお父さん ^{かあ とう} | 2. 親以外の家族(きょうだいや、おじいさん・おばあさんなど) ^{おやいがい かぞく} |
| 3. 学校の先生 ^{がっこう せんせい} | 4. 塾や習い事の先生 ^{じゆく なら ごと せんせい} |
| 5. その他の大人 ^{た おとな} | 6. 友だち ^{とも} |
| 7. 自分で本や教科書を使って調べる ^{じぶん ほん きょうかしょ つか しら} | 8. 自分でインターネットを使って調べる ^{じぶん インターネット つか しら} |
| 9. 教えてもらえる人がいない ^{おし ひと} | 10. 特に何もしない(わからないままにしている) ^{とく なに} |
| 11. いつもわかるので誰にも教わらない ^{だれ おそ} | |

(22) あなたの得意な教科は、次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | | | |
|--------|---------|----------------|-------|
| 1. 算数 | 2. 国語 | 3. 理科 | 4. 社会 |
| 5. 体育 | 6. 図画工作 | 7. 音楽 | 8. 家庭 |
| 9. 外国語 | 10. 道徳 | 11. どれもあてはまらない | |

(23) あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

※ 塾などでの時間も含まれます。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. まったくしない | 2. 30分より少ない |
| 3. 30分以上、1時間より少ない | 4. 1時間以上、2時間より少ない |
| 5. 2時間以上、3時間より少ない | 6. 3時間以上 |

(24) あなたは、学習塾に通ったり、家庭教師に来てもらっていますか。通っている(来てもらっている)場合、1週間に何日通っていますか(来てもらっていますか)。(あてはまる番号1つに○)

※ オンラインで授業を受けている場合も含まれます。

- | | | |
|----------------------|---------|---------|
| 1. 通っていない(来てもらっていない) | 2. 週に1日 | 3. 週に2日 |
| 4. 週に3日 | 5. 週に4日 | 6. 週に5日 |
| 7. 週に6日 | 8. 毎日 | |

(25) あなたは、家庭で以下の教材を使っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 学校で配られるドリルなど | 2. パソコンやタブレットを使う教材 |
| 3. 学校以外で手に入れた紙の教材(塾・通信教育の教材や、ドリル、参考書) | |
| 4. 1～3以外の教材 | 5. どれも使っていない |

(26) あなたは、学校での補習に参加していますか。もっとも近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|-----------|-------------|--------------|--------------|
| 1. 参加している | 2. 時々参加している | 3. たまに参加している | 4. 参加したことはない |
|-----------|-------------|--------------|--------------|



あなたの「ゆめ」についておたずねします

(27) あなたは、将来のゆめがありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ある ⇒ (28) へ 2. ない ⇒ (27-1) へ

(27-1) 「あなたは、将来のゆめがありますか」に「2. ない」と答えた人におききます。

ゆめがない理由は何ですか。(もっともあてはまる番号1つに○)

1. もうすべてに満足しているから 2. ゆめがかなうのがむずかしいと思うから
3. 具体的に、何も、思いうかばないから 4. わからない

あなたが普段考えていることについておたずねします

(28) あなたの思いや気持ちについて、「とても思う」から「思わない」のうち、もっとも近いものに○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	とても思う	思う	あまり思わない	思わない
A がんばれば、いつかうまくいく	1	2	3	4
B 自分は価値のある人間だと思う	1	2	3	4
C 自分は家族に大事にされていると思う	1	2	3	4
D 心配ごとが多く、いつも不安だ	1	2	3	4
E 自分は同じくらいの年齢の子どもから好かれていると思う	1	2	3	4
F 自分の将来が楽しみだ	1	2	3	4

(29) あなたは、これまでに以下のようなことがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	よくあった	時々あった	あまりなかった	なかった
A 学校に行きたくないと思った	1	2	3	4
B 1か月以上学校を休んだ(病気の時をのぞく)	1	2	3	4
C 夜遅くまで子どもだけで過ごした	1	2	3	4



(32) あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいとおもいますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	つか 使って みたい	きょうみ 興味がある	つか 使いたくない	つか ひつよう 使う必要は ない
A (家以外で) 平日の放課後に夜までいることができる場所	1	2	3	4
B (家以外で) 休日に夜までいることができる場所	1	2	3	4
C 家の人がいなくて、夕ご飯をみんなで食べることができる場所	1	2	3	4
D 家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所	1	2	3	4
E 大学生のお兄さんやお姉さんが、勉強を無料でみてる場所	1	2	3	4
F (学校以外で) なんでも相談できる場所	1	2	3	4

(33) 最後に、このアンケートの感想や、世の中のことで大人に言いたいこと、こうだったらいいなと思うことがあれば、自由に書いてください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



ひとり親家庭の生活実態に関する調査

ご記入にあたってのご注意

- この調査票は、**宛名のご本人**が、お答えください。
- この調査は**無記名**です。お名前をお書きいただく必要はありません。
- 回答は、質問番号の順番に、鉛筆か、黒または青のボールペンで、回答の番号に○をつけてください。お答えになりたくない質問には、**無回答のまま**、次の質問にお進みください。
- 「その他」に○をつけた場合は、() 内にその内容を具体的にご記入ください。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒に三つ折りにして入れ、封をしてご返送ください（返送にかかる費用をご負担いただく必要はありません）。
- お忙しいところ誠に恐縮ですが、**9月25日(金)まで**にご返送をお願いいたします。
- 回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。

この調査は、大田区が実施しています。調査に関するお問い合わせ、ご意見などは、以下の大田区役所の担当までお願いいたします。

お問合せ電話番号：03-5744-1244
(大田区福祉部福祉管理課) (月～金9:00～17:00)

★この調査に賛同・協力できますか。できない場合は、下の欄にチェックを入れてください。

- この調査に賛同・協力することはできません。
 →チェックを入れた方は以下の質問に回答する必要はありません。
 同封の返信用封筒に三つ折りにして入れ、封をしてご返送ください。

はじめに、あなたご自身のことについてうかがいます

※2020年9月1日現在でお答えください

問1 お子さんからみて、あなたは次のどの立場にあたりますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他(具体的に)

問2 ひとり親世帯になった理由は何ですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 離婚 2. 死別 3. 未婚 4. 別居 5. その他(具体的に)

問3 あなたの現在の年齢と、ひとり親世帯になったときの年齢を教えてください。
(枠内に数字で回答してください)

A. 現在の年齢

 歳

B. ひとり親世帯になったときの年齢

 歳


問4 あなたが最後に卒業した学校は次のどれにあたりますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|---------|-----------|-------------|--------------|
| 1. 中学校 | 2. 高等学校 | 3. 高等専門学校 | 4. 専修学校・各種学校 |
| 5. 短期大学 | 6. 大学・大学院 | 7. その他(具体的に |) |

問5 あなたと一緒に暮らしており、生計を共にしている方は、あなたを含めて全部で何人ですか。(枠内に数字で回答してください)

※単身赴任など、離れて暮らしている家族も含みます。

あなたを含めて 人

問6 あなたと一緒に暮らしており、生計を共にしている方は、どなたですか。それぞれ、人数も教えてください。(あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で回答してください)

※単身赴任など、離れて暮らしている家族も含みます。

- | | | |
|-----------------|--------------|-----------------|
| 1. あなたの実の父親 | 2. あなたの実の母親 | 3. あなたの義理の父親 |
| 4. あなたの義理の母親 | 5. あなたの実の祖父 | 6. あなたの実の祖母 |
| 7. あなたの義理の祖父 | 8. あなたの義理の祖母 | 9. あなたの兄弟姉妹(人) |
| 10. その他の親せき(人) | 11. 子ども(人) | 12. その他の人(人) |

問7(1) あなたのご家族の中に、あなたが主に世話をしている人で、以下のような方はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 高齢で介護が必要な方 | 2. 身体障害者手帳をお持ちの方 |
| 3. 精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方 | 4. 愛の手帳をお持ちの方 |
| 5. 発達障がいをお持ちの方(疑いを含む) | 6. 定期的な通院等が必要な疾患をお持ちの方 |
| 7. 精神疾患(うつ、心の病、依存症など)をお持ちの方 | 8. 引きこもりの方 |
| 9. 特に該当する人はいない | |

問7(2) あなたの国籍について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------|--------|
| 1. 日本国籍 | 2. 外国籍 |
|---------|--------|

問7(3) あなたのご家庭ではふだんどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| 1. 日本語のみを使用している | 2. 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い |
| 3. 日本語以外の言語を使うことが多い | |

問8 あなたと一緒に暮らしており、生計を共にしているお子さん（最大4人まで）に関して、次のA～Eそれぞれについて教えてください。

（それぞれ、あてはまる番号1つに○、もしくはカッコの中に数字で回答してください）

※Dは小学生以下のお子さんについてのみ、Eは中学校を卒業したお子さんについてのみ、お答えください。

	上から一人目 ↓	二人目 ↓	三人目 ↓	四人目または末子 ↓
A 性別	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女	1. 男 2. 女
B 生年月（西暦）	〔 〕年〔 〕月	〔 〕年〔 〕月	〔 〕年〔 〕月	〔 〕年〔 〕月
C 現在の学校等教育機関での在籍状況	1. 保育所・保育施設等 2. 認定こども園 3. 幼稚園 4. 上記以外の幼児教育・保育施設 5. 小学校 6. 中学校 7. 高等学校 8. 短大・高専 9. 大学・大学院 10. その他教育機関 11. 通っていない	1. 保育所・保育施設等 2. 認定こども園 3. 幼稚園 4. 上記以外の幼児教育・保育施設 5. 小学校 6. 中学校 7. 高等学校 8. 短大・高専 9. 大学・大学院 10. その他教育機関 11. 通っていない	1. 保育所・保育施設等 2. 認定こども園 3. 幼稚園 4. 上記以外の幼児教育・保育施設 5. 小学校 6. 中学校 7. 高等学校 8. 短大・高専 9. 大学・大学院 10. その他教育機関 11. 通っていない	1. 保育所・保育施設等 2. 認定こども園 3. 幼稚園 4. 上記以外の幼児教育・保育施設 5. 小学校 6. 中学校 7. 高等学校 8. 短大・高専 9. 大学・大学院 10. その他教育機関 11. 通っていない
〔小学生以下の状況〕 D 未治療の虫歯の有無	1. ある 2. ない 3. わからない	1. ある 2. ない 3. わからない	1. ある 2. ない 3. わからない	1. ある 2. ない 3. わからない
〔中学卒業後の状況〕 E 就業の有無（アルバイトを含む）	1. 働いている 2. 仕事を探している 3. 働いていない 4. わからない	1. 働いている 2. 仕事を探している 3. 働いていない 4. わからない	1. 働いている 2. 仕事を探している 3. 働いていない 4. わからない	1. 働いている 2. 仕事を探している 3. 働いていない 4. わからない

問9 あなたのご家庭の全てのお子さんについて、障害者手帳等の有無を教えてください。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 身体障害者手帳	2. 愛の手帳
3. 精神障害者保健福祉手帳	4. 発達障がい（疑いを含む）
5. どのお子さんも持っていない	

[小学生以下のお子さんがある方にうかがいます。]

問10 あなたが病気の時や不在の時に、小学生以下のお子さんの面倒をみってくれる人はいますか。

（あてはまる番号すべてに○）

1. 同居している大人の親族	2. 同居している別の子ども（年上の兄弟姉妹）
3. ふだんは別居している家族・親族	4. 近所の人・友人・知人
5. 有償のサービスを利用する（ベビーシッター等）	6. その他（具体的に）
7. 子どもの面倒をみってくれる人はいない	



[小学生以上のお子さんがある方にうかがいます。]

問 11 小学生以上のお子さんが年間 30 日以上学校を欠席した経験はありますか。

(あてはまる番号 1 つに○)

- | |
|---------------------------|
| 1. 経験なし |
| 2. 経験あり (現在欠席している子どもはいない) |
| 3. 経験あり (現在欠席している子どもがいる) |
| 4. わからない |

[小学生のお子さん、もしくは中学生のお子さんがある方にうかがいます。]

問 12 あなたのご家庭では、次のことをしていますか。A～I について、「1 している」「2 していない、したくない (方針ではない)」「3 していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号 1 つに○)

	している	していない	
		したくない (方針ではない)	経済的に できない
A 毎月おこづかいを渡す	1	2	3
B 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	1	2	3
D 学習塾に通わせる	1	2	3
E お誕生日のお祝いをする	1	2	3
F 1年に1回程度家族旅行に行く	1	2	3
G クリスマスのプレゼントをあげる	1	2	3
H 正月のお年玉をあげる	1	2	3
I 子どもの学校行事などに親が参加する	1	2	3

[問 13 と問 14 は、中学校を卒業したお子さんがある方にうかがいます。]

問 13 中学校を卒業したお子さんが、高校・大学等を中退した経験はありますか。

(あてはまる番号 1 つに○)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 経験なし | 2. 経験あり | 3. わからない |
|---------|---------|----------|

問 14 中学校を卒業したお子さんのうち、いわゆるニートの状態のお子さんはいらっしゃいますか。

(あてはまる番号 1 つに○)

※ニートの状態とは、15 歳～34 歳で、通学・就労・家事・職業訓練のいずれもしていないことを指します。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

あなたのお仕事やこれまでの経験についてうかがいます

問 15(1) あなたの就労状況についてうかがいます。(A) 新型コロナウイルス感染症拡大前(2020年2月頃)と、(B) 現在(2020年9月1日時点)の就労状況について、以下の選択肢の中から最も近いものをお選びください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

※2つ以上の仕事をしている場合は、主な仕事についてお答えください。

	働いている				働いていない			
	会社役員・ 常勤・正規職員・	非正規職員・ パート・アルバイト・	自営業・家業	その他の就労	求職中	家事専業	学生	その他
(A) 新型コロナウイルス感染症拡大前(2月頃)	1	2	3	4	5	6	7	8
(B) 現在(9月1日時点)	1	2	3	4	5	6	7	8

[現在(9月1日時点)、働いている(1~4を選択)と回答した方にうかがいます。]

問 15(2) あなたは、現在(9月1日時点)2つ以上の仕事をしていますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. 2つ以上の仕事をしている 2. 2つ以上の仕事をしてない

[現在(9月1日時点)、働いている(1~4を選択)と回答した方にうかがいます。]

問 15(3) あなたは、平日の日中以外の勤務もありますか。(あてはまる番号すべてに○)

※時間帯については、通勤時間も含めます。

1. 早朝勤務(5~8時) 2. 18~20時の勤務 3. 夜間勤務(20時~22時)
4. 深夜勤務(22時~5時) 5. 土曜出勤 6. 日曜・祝日出勤
7. 平日の日中以外の勤務はない

[現在(9月1日時点)、働いていない(5~8を選択)と回答した方にうかがいます。]

問 15(4) 現在仕事をしていない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分の健康上の理由 2. 子どもの健康上の理由
3. 子どもの保育の手だてがないため 4. 子育てに専念したいため
5. 家族の介護や介助をしなければならないため 6. 条件に合う仕事を探しているため
7. 現在資格取得等のために準備しているため 8. 経済的理由で働く必要がないため
9. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で失業したため
10. その他(具体的に _____)



[すべての方にうかがいます。]

問 16 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、あなたは以下のようなことを経験しましたか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 希望しない形での転職	2. 失業
3. 勤務先の増加（ダブルワーク等）	4. 希望しない勤務形態の変化
5. 希望しない労働時間の減少	6. 希望しない時間帯・曜日での勤務
7. 収入の減少	8. 1～7のようなことは経験していない

問 17 仕事と家庭生活のバランスについて、この1年間に以下のようなことがどのくらい起きていますか。下記のA～Cについて、あてはまるものにそれぞれ1つだけ○をつけてください。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	ほぼ毎日	週に何回かある	月に何回かある	年に何回かある	めったにない	全くない	この一年間は仕事をしていない
A 仕事で疲れ切ってしまって、しなければならない家事や育児のいくつかができなかった	1	2	3	4	5	6	7
B 仕事にあてる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっている	1	2	3	4	5	6	7
C 家事（や育児・介護）の負担があるために仕事に集中することが難しくなっている	1	2	3	4	5	6	7

あなたの健康状態等についてうかがいます

問 18 次のそれぞれの質問について、あなたは、過去1か月の間にどのように感じましたか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
A 自分が神経過敏になっていると感じましたか	1	2	3	4	5
B 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
C そわそわしたり、落ちつきなく感じたりしましたか	1	2	3	4	5
D 気分が沈みこんで、何が起ころしても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
E 何をするのも骨折りと感じましたか	1	2	3	4	5
F 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問 19 あなたの健康状態について、最も近いものに○をつけてください。(あてはまる番号1つに○)

1. よい	2. どちらかといえばよい	3. 普通
4. どちらかといえばよくない	5. よくない	

資格のことについてうかがいます

<資格に関する選択肢番号>

1 看護師	2 准看護師	3 社会福祉士	4 作業・理学療法士
5 薬剤師	6 はり師・きゅう師・柔道整復師	7 医師・歯科医師	8 助産師
9 歯科衛生士	10 視能訓練士・言語聴覚士	11 保健師	12 介護福祉士
13 ホームヘルパー	14 ケアマネジャー	15 栄養士	16 調理師、理・美容師
17 保育士・幼稚園教諭	18 教員免許（小・中・高）	19 医療事務	20 簿記資格
21 パソコン関連資格	22 語学関連資格	23 司書	24 1級建築士
25 2級建築士	26 宅地建物取引士	27 危険物取扱者免状	28 司法書士・行政書士・税理士
29 普通自動車免許	30 大型・特殊自動車免許	31 その他	

問 20(1) 上記の資格の中で、あなたが持っているものを教えてください。

(あてはまる番号1つに○をした上で、資格を持っている場合には上記の選択肢よりあてはまる番号をすべて記入)

1. ない → 問 20(3)にお進みください
2. ある → 持っている資格の番号をご記入の上、問 20(2)にお進みください

[問 20(1)で、いずれかの資格を持っていると回答した方にうかがいます。]

問 20(2) 持っている資格のうち、仕事に役立っている(いた)ものがありますか。

(あてはまる番号1つに○をした上で、役に立っている資格がある場合には上記の選択肢よりあてはまる番号をすべて記入)

1. ない → 問 20(3)にお進みください
2. ある → 役に立っている(いた)資格の番号をご記入の上、問 20(3)にお進みください

[すべての方にうかがいます。]

問 20(3) 上記の資格の中で、今後、取りたいと思うものはありますか。

(あてはまる番号1つに○をした上で、取りたい資格がある場合には上記の選択肢よりあてはまる番号をすべて記入)

1. ない → 問 21(1)にお進みください
2. ある → 取りたいと思う資格の番号をご記入の上、問 21(1)にお進みください

お子さんのことについてうかがいます

問 21(1) あなたのご家庭では、過去1年の間に、お子さんについて病気や怪我の治療のために病院や診療所を受診させた方がよいと思ったのに、実際には受診させなかったことがありますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. あった → 問 21(2)に回答した上で問 22にお進みください
2. なかった → 問 22にお進みください



【問 21(1)で、「あった」と回答した方にうかがいます。】

問 21(2) その理由は何でしたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
2. 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
3. 子ども本人が受診しなかったため
4. 医療機関まで遠かったため
5. 多忙だったため
6. 子どもの体調などで後回しにしていたら受診の機会を逃したため
7. 自分の健康状態が悪かったため
8. 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、医療機関への受診を控えたため
9. どれにもあてはまらない

問 22 大田区においては、3月から5月末まで、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、多くの教育機関や保育施設が臨時休校・休業となりました。これによるお子さんへの影響にはどのようなものがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	とても そう思う	そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	全く そう思わない
A お子さんの学力が低下した	1	2	3	4	5
B お子さんの体力が低下した	1	2	3	4	5
C お子さんがゲームやスマホをみる時間が増えた	1	2	3	4	5
D お子さんが一人でいる時間が多すぎた	1	2	3	4	5
E お子さんが落ち込んだ	1	2	3	4	5
F お子さんが不安を感じていた	1	2	3	4	5
G お子さんが寂しそうだった	1	2	3	4	5
H お子さんがイライラしていた	1	2	3	4	5
I お子さんとお過ごし時間が増えた	1	2	3	4	5
J お子さんと話す時間が増えた	1	2	3	4	5
K お子さんに手をあげたり、きつくしかったりした	1	2	3	4	5
L 家庭内でのストレスが高まった	1	2	3	4	5
M 家庭内で暴力が増えた	1	2	3	4	5

悩みごと等についてうかがいます

問 23 現在、あなたは、次のようなことで悩んでいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 収入が少ない	2. 食費が足りない
3. 塾や習い事の費用が足りない	4. 家賃や公共料金の支払いができない
5. 借金の支払いができない、負担が重い	6. 自分の老後
7. 自分の健康	8. 仕事の継続
9. 元夫(元妻)との関係	10. 子どもと過ごす時間を十分につくれない
11. 子育ての助けがない	12. 子どもの健康・発育
13. 子どもの学習状況	14. 子どもの進学
15. 子どもの交友関係がわからない	16. 子どものいじめや友人関係
17. 子どもの不登校・ひきこもり	18. 子どもの夜間の外出・遊び
19. 子どもの粗暴な態度や家庭内暴力	20. その他()
21. 特に悩みはない	

問 24 あなたは次のことで以下の人に相談しますか。(それぞれ、あてはまる番号すべてに○)

	兄弟姉妹)	家族(自分の親や)	同僚、地域の人など)	身近な人(友人や)	学校の先生	区役所等の窓口	その他の人	相談できる人はいない
A 子どものしつけや勉強・就労	1	2	3	4	5	6		
B 子どもの健康・発育	1	2	3	4	5	6		
C 看病、介護、子どもの世話	1	2	3	4	5	6		
D 自分の仕事に関すること	1	2	3	4	5	6		
E お金の相談・家計管理	1	2	3	4	5	6		
F 人間関係の悩み	1	2	3	4	5	6		
G 公的機関への申請や手続きに関すること	1	2	3	4	5	6		

問 25 あなたは子育てや暮らしに関する情報をどこから手に入れますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分の親	2. 兄弟姉妹や親戚
3. 友人や同僚	4. 自治会町会や民生委員など地域の支援者
5. 学校の先生	6. 学習塾などの先生
7. 区役所等の窓口	8. 区報
9. 雑誌	10. 学校や公的機関が提供するインターネット上の情報
11. その他のインターネット上の情報	12. その他(具体的に)



ご家庭の暮らし・経済状況についてうかがいます

問 26 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金の1回あたりの支給額はいくらですか。

(枠内に数字で回答してください)

※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。

※すべてのお子さんについて合算してお考えください。

		1回あたり金額
A 児童手当	所得が一定水準以下の、中学校修了前のお子さんの保護者に対して、お子さんの年齢・人数に応じて <u>4か月に1回</u> 支払われる補助金。窓口は区の子育て支援窓口。	(4か月分) 円
B 児童育成手当	所得が一定水準以下のひとり親等世帯に対して、お子さんの人数に応じて <u>4か月に1回</u> 支払われる補助金。窓口は区の子育て支援窓口。	(4か月分) 円
C 児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親世帯に対して、所得額とお子さんの人数に応じて <u>2か月に1回</u> 支払われる補助金。窓口は区の子育て支援窓口。	(2か月分) 円
D 特別児童扶養手当	所得が一定水準以下の、20歳未満で精神又は身体に障がいをもつお子さんの保護者に対して、お子さんの障がいの程度と人数に応じて <u>4か月に1回</u> 支払われる補助金。窓口は区の子育て支援窓口。	(4か月分) 円
E 年金	遺族年金、障害年金、老齢年金など、 <u>2か月に1回</u> 支払われます	(2か月分) 円
F 生活保護費	病気や失業などのため、生活費や医療費に困り、ほかに方法がないときは一定の条件により、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の8種類について援助が受けられる制度。窓口は区的生活福祉課。	(1か月分) 円

問 27(1) 上記問 26 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きします。

お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまる番号1つに○)

※収入には、養育費、勤労収入(パート、アルバイトを含む)、事業収入(自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、上記問 26 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。

※複数の収入源がある場合は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

1. 収入はない(0円)	2. 1~50万円未満	3. 50~100万円未満
4. 100~150万円未満	5. 150~200万円未満	6. 200~250万円未満
7. 250~300万円未満	8. 300~350万円未満	9. 350~400万円未満
10. 400~450万円未満	11. 450~500万円未満	12. 500~550万円未満
13. 550~600万円未満	14. 600万円以上	15. わからない

問 27(2) 新型コロナウイルス感染拡大による収入の変化についてお聞きします。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令前と、緊急事態宣言発令後とを比べて、お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、月間収入(税込)の合計は、最大でどれくらい変わりましたか。(あてはまる番号1つに○)

1. 増加した	2. 変わらなかった	3. 1割程度減少した
4. 2~3割程度減少した	5. 4~5割程度減少した	6. 6~7割程度減少した
7. 8~9割程度減少した	8. 10割減少した(ゼロになった)	9. わからない

問 28 お子さんの親（相手方）とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 取り決めをしており、養育費を受け取っている
2. 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3. 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
4. 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない
5. 死別等の理由で該当しない

問 29 あなたのご家庭では、現在、就学援助費を受けていますか。（あてはまる番号1つに○）

※就学援助制度は、所得が一定以下の世帯に対し、給食費等学校でかかる費用の一部を援助する制度です。

1. 受けている
2. 受けていない
3. わからない

問 30(1) あなたは、ひとり親世帯として暮らし始めてから、生活保護を受けたことがありますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 現在受けている
2. 過去に受けていた
3. 受けたことがない⇒問 30(2)へ

[問 30(1)で、「受けたことがない」と回答した方にうかがいます。]

問 30(2) 受けたことがない理由を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

1. 経済的に必要がないから
2. 親族に知られたくないから
3. 親族と暮らしたいから
4. 転居したくないから
5. 自宅を売却したくないから
6. 貯蓄や保険を解約したくないから
7. 車（自家用車）を使いたいから
8. 制度や手続きを良く知らないから
9. 受けたくない気持ちがあるから
10. その他（具体的に

問 31(1) 現在お住いの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。

（あてはまる番号1つに○）

※「持ち家（マンション含む）」には、住宅ローン支払い中の場合も含まれます。

1. 持ち家（マンション含む）
2. 民間の賃貸住宅
3. 区営・都営の賃貸住宅
4. UR 賃貸住宅・公社賃貸住宅
5. 社宅・公務員住宅
6. 間借り・その他

問 31(2) 1か月あたりの住宅ローン支払額、家賃、間代はいくらですか。（あてはまる番号1つに○）

※共益費または管理費を含んだ額をお答えください。

1. 住宅ローン・家賃・間代の負担はない
2. 5万円未満
3. 5～10万円未満
4. 10～15万円未満
5. 15～20万円未満
6. 20万円以上
7. わからない



問 32 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. 普通 |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

問 33 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

問 34 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

問 35 次のうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| 1. 子どもの年齢に合った本 | 2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ |
| 3. 子ども用の自転車 | 4. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所 |
| 5. オンラインでの学習に使えるパソコン・タブレット端末 | 6. スマートフォン |
| 7. 急な出費のための貯金(5万円以上) | 8. あてはまるものはない |

問 36(1) あなたのご家庭では、過去1年の間に、経済的な理由のために以下のA～Hを支払えないことがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	あった	なかった	該当しない (払う必要がない)
A 電話料金	1	2	3
B 電気料金	1	2	3
C ガス料金	1	2	3
D 水道料金	1	2	3
E 家賃	1	2	3
F 住宅ローン	1	2	3
G 社会保険料(年金・健康保険など)	1	2	3
H その他の債務	1	2	3

[問 36(1)で、ひとつでも「あった」と回答した方にうかがいます。]

問 36(2) 上記のような料金等が支払えないことがあったのは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う収入減少によるものですか。(あてはまる番号1つに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 新型コロナウイルス感染症拡大による収入減少によるもの |
| 2. それ以外の理由によるもの |

問 37 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言により、あなたのご家庭の家計の状況として、次のようなものは増えましたか、減りましたか。(あてはまる番号1つに○)

	とても 増えた	少し 増えた	変わら ない	少し 減った	とても 減った	そもそ もない
A 食費	1	2	3	4	5	6
B 水道光熱費	1	2	3	4	5	6
C 通信費	1	2	3	4	5	6
D 日用品費（衛生用品含む）	1	2	3	4	5	6
E 子どもの教材費（オンライン教材含む）	1	2	3	4	5	6
F 子どもの遊具費	1	2	3	4	5	6
G 娯楽費	1	2	3	4	5	6
H 赤字	1	2	3	4	5	6
I 借金	1	2	3	4	5	6

あなたのこれまでのご経験についてうかがいます

問 38 あなたは、子育てにかかわってから以下のような経験をしたことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. (元) 配偶者またはそれに相当するパートナーから暴力をふるわれたことがある
2. 子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある
3. 育児を放棄した時期がある
4. 出産や育児でうつ状態になった時期がある
5. わが子を虐待しているのではないかと、思い悩んだことがある
6. 自殺を考えたことがある
7. 1～6のいずれも経験したことがない

問 39 あなたは、ひとり親世帯として暮らし始めてから、生活費をまかなうために、お金を借りたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)
※住宅ローン・自動車ローン・子どもの奨学金は含みません。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 家族・親族から借りた | 2. 友人・知人から借りた |
| 3. 公的支援（貸付金等）を受けた | 4. 民間の金融機関から借りた |
| 5. クレジットカードのキャッシングを利用した | 6. 上記以外から借りた |
| 7. お金を借りたことはない | |

問 40 あなたが15歳の頃のご家庭の暮らし向きについて最も近いものに○をつけてください。
(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|--------------|--------------|-------|
| 1. 大変苦しかった | 2. やや苦しかった | 3. 普通 |
| 4. ややゆとりがあった | 5. 大変ゆとりがあった | |



問 41 あなたは、成人する前に以下のような経験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1. 両親が離婚した | 2. 親が生活保護を受けていた |
| 3. 母親が亡くなった | 4. 父親が亡くなった |
| 5. 親から暴力を振るわれた | 6. 親から育児放棄された |
| 7. 親が精神疾患(うつ、心の病、依存症など)を患った | |
| 8. 1～7のいずれも経験したことがない | |

様々な支援制度についてうかがいます

問 42 よりよい就職や仕事のため、どのような支援がほしいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. 技能訓練、職業訓練などの機会が増えること |
| 2. 訓練受講などに経済的支援が受けられること |
| 3. 訓練などが受講しやすくなること(実施日、時間帯など) |
| 4. 仕事を探したり、受講、通学時などに一時的に子どもを預かってもらうこと |
| 5. 相談が1か所で受けられること |
| 6. 就職のための支援策などの情報が得られること |
| 7. 自分で事業を興す場合に相談や援助を得られること |
| 8. 在宅で就業するための支援が受けられること |
| 9. 就職活動前の準備として、親子同士の交流会・職場体験などの支援が受けられること |
| 10. 保育所が整備されること |
| 11. 延長保育、休日保育が充実すること |
| 12. 学童保育が充実すること |
| 13. その他(具体的に) |
| 14. 特にない |

問 43 あなたは、次のような支援やサービスがあれば利用したいと思いますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 学校や家庭以外で子どもが学べる場所 |
| 2. 子どもたちが地域の人と食事ができる場所 |
| 3. 子どもの送迎をしてくれるサービス |
| 4. 自分が高校卒業程度の認定資格を取るための支援(高卒資格をもっていない場合) |
| 5. 自分が高校卒業以上の専門学校や大学で学ぶための支援(高卒の場合) |
| 6. 自分が仕事や職業に活かせる資格を取るための支援 |
| 7. その他(具体的に) |
| 8. いずれも利用したいとは思わない |



問 44 新型コロナウイルス感染症拡大に伴って、国や区では経済的支援をしています。以下のA～Eの支援制度に関して、①これまでに利用したことがあるか、②利用したことがない場合はその理由、③現在制度を利用することに興味があるか、について教えてください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

※①で利用したことが「ある」方は、次に③に回答してください。

※①で利用したことが「ない」方は、②で理由について回答した上で、③に回答してください。

なお、利用したことがない理由については、以下の中から、もっともあてはまる記号に○をつけてください。

※制度の対象外であった場合にはアを選択してください。

ア) 利用したいと思ったことがなかった(そもそも制度の対象外であった)

イ) 利用しなかったが、条件を満たしていなかった

ウ) 利用時間や制度が使いづらかった

エ) 利用の仕方がわからなかった

オ) 制度について全く知らなかった

①で「ある」方は③へ ①で「ない」方は②に回答の上③へ	①利用した ことが…	②利用しなかった 理由(1つを選択)	③現在利用 することに 興味が…
A 特別定額給付金	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
B 新型コロナウイルス感染症に係る緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
C 住居確保給付金	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
D ひとり親世帯臨時特別給付金	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない
E 新型コロナウイルスに伴う国民健康保険加入者に対する傷病手当金	1. ある 2. ない	ア イ ウ エ オ	1. ある 2. ない

<参考>

A 特別定額給付金	すべての方を対象に1人あたり10万円を、世帯単位で給付。区から世帯主の方に郵送された申請書類に必要な事項を記入して返送するか、マイナンバーカードを活用してオンラインで申請。
B 新型コロナウイルス感染症に係る緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付	新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で生活資金にお困りの方を対象とした、最大20万円の無利子貸付。大田区社会福祉協議会に郵送で申請。
C 住居確保給付金	離職・廃業、もしくは新型コロナウイルス感染症の影響で収入が低下し住居を失った(または失うおそれのある)方に対し、家賃額を給付。大田区生活再建・就労サポートセンターJOBOTAで申請。
D ひとり親世帯臨時特別給付金	対象者は、(1)2020年6月分の児童扶養手当受給者、(2)公的年金等の受給による2020年6月分児童扶養手当支給全額停止者、(3)新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が児童扶養手当受給と同水準になっている方、(4)上記(1)(2)のうち新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し収入が減少した方。(1)～(3)については1世帯5万円・第2子以降ひとりにつき3万円、(4)1世帯5万円を給付。(1)は児童扶養手当を受給している口座に振り込まれるため申請は不要、(2)～(4)は要申請。
E 新型コロナウイルスに伴う国民健康保険加入者に対する傷病手当金	国民健康保険加入者に対し、新型コロナウイルス感染症に感染(疑い含む)のため一定期間欠勤し、給与の全部または一部が支給されない方を対象に傷病手当金を支給。区の国保年金課に郵送で申請。



※問 45 は別紙「大田区 子育て世帯支援施策一覧」をご覧くださいながらご回答ください

問 45 あなたは下記の支援制度を知っていますか、また、利用したいと思いませんか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

※制度・事業によっては、母子世帯のみを対象としており、父子世帯を対象としていないものもあります。

	制度を知っていた			制度を知らなかった	
	知っており、 利用している (いた)	知っており、 今後利用 したい	知っている が、今後利用 するつもりは ない	知らなかった が、今後利用 したい	知らなかった が、今後利用 するつもりは ない
A ひとり親家庭医療費助成 (マル親)	1	2	3	4	5
B 国民年金保険料の免除	1	2	3	4	5
C 母子及び父子福祉資金	1	2	3	4	5
D 就学援助費	1	2	3	4	5
E 大田区奨学金	1	2	3	4	5
F 受験生チャレンジ支援貸付	1	2	3	4	5
G 生活福祉資金	1	2	3	4	5
H 子どもの学習支援	1	2	3	4	5
I 区営住宅・都営住宅・区民住宅	1	2	3	4	5
J 母子生活支援施設	1	2	3	4	5
K ホームヘルパー派遣	1	2	3	4	5
L 自立支援教育訓練給付金	1	2	3	4	5
M 高等職業訓練促進給付金	1	2	3	4	5
N 緊急一時保育	1	2	3	4	5
O 病後児保育	1	2	3	4	5
P ショートステイ・トワイライトステイ	1	2	3	4	5
Q ファミリー・サポート	1	2	3	4	5
R 子ども家庭支援センター (キッズな)	1	2	3	4	5
S こども発達センター わかばの家	1	2	3	4	5
T 教育相談・就学相談	1	2	3	4	5
U 幼児教育相談	1	2	3	4	5
V 母子・父子自立支援員	1	2	3	4	5
W 家庭相談員	1	2	3	4	5
X 大田区生活再建・就労サポートセンター JOBOTA	1	2	3	4	5
Y 離婚と養育費にかかわる総合相談	1	2	3	4	5

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



おおた 子どもの生活応援プランに関する活動状況等調査

ご回答にあたってのご注意

- この調査は、大田区区民活動情報サイト登録団体、大田区社会福祉法人協議会参加法人の登録住所宛てに調査票を配布しております。
- 調査票がお手元に届いた団体・法人におかれましては、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。
- お忙しいところ誠に恐縮ですが、**10月9日(金)**までにご返送をお願いいたします。

【オンラインで、調査票をダウンロードいただけます】

- 本調査は、インターネットを利用できるパソコン等で、調査票（Microsoft エクセル形式）をダウンロードしてご回答いただけます。調査票ファイルに回答を入力・保存後、ファイルを大田区担当課に電子メールで送付する方法でご回答いただくことができます。
- 調査票ダウンロードサイトを用意しておりますので、ぜひご利用ください。

大田区本調査専用サイト：「大田区 活動状況等調査」で検索

送付先電子メールアドレス：kodomochosa@city.ota.tokyo.jp

【紙の調査票にご記入いただく場合】

- 調査票による回答は、質問番号の順番に、鉛筆か、黒または青のボールペンで、選択肢の□枠内に○をつけてください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に三つ折りにして入れ、封をしてご返送ください（返送にかかる費用をご負担いただく必要はありません）。

この調査は、大田区が実施しています。

調査に関するお問い合わせ、ご意見などは、

以下の大田区役所の担当までお願いいたします。



お問い合わせ先 大田区福祉部福祉管理課

お問い合わせ電話番号 : 03-5744-1244 (月～金9:00～17:00)

電子メールアドレス : kodomochosa@city.ota.tokyo.jp

大田区本調査専用サイト :

http://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/fukushi/kodomo_seikatsu_plan_chousa.html

おおた 子どもの生活応援プランに関する活動状況等調査

問1 貴団体は、子どもや若者の生活・学び・体験、子育て支援に関連のある活動や取組みを実施していますか。または、今後実施することを検討していますか。

あてはまる選択肢すべてに○をつけてください。

<input type="checkbox"/>	1. 関連する活動や取組みを実施している
<input type="checkbox"/>	2. 関連する活動や取組みの実施に向けて、具体的に検討している
<input type="checkbox"/>	3. 現時点では具体的な検討をしていないが、関心があり条件が整えば検討する
<input type="checkbox"/>	4. 実施する予定はない

問2へ

アンケートは以上になります。同封の返信用封筒に三つ折りにして入れ、封をしてご返送ください。ご協力いただきありがとうございました。

問2 大田区では、すべての子どもたちが地域社会から切り離されないよう、社会的に包み込むような支援「社会的包摂」(ソーシャル・インクルージョン)に取り組んでいます。「社会的包摂」という言葉を知っていますか? あてはまる選択肢ひとつに○をつけてください。

<input type="checkbox"/>	1. 「社会的包摂」の意味を知っている
<input type="checkbox"/>	2. 「社会的包摂」の意味は知らなかったが、聞いたことはある
<input type="checkbox"/>	3. 「社会的包摂」という言葉を聞いたことがなかった

問3 今後、大田区や大田区社会福祉協議会では、地域住民や支援団体が集まり、地域課題やその解決策について情報交換や対話する場を設定していくことを検討しています。

こうした場に関心はありますか? (あてはまる選択肢すべてに○)

<input type="checkbox"/>	1. 関心がある
<input type="checkbox"/>	2. 参加したい
<input type="checkbox"/>	3. テーマが子どもや家庭への支援等であれば参加したい(関心がある)
<input type="checkbox"/>	4. 関心はない・わからない



問4 大田区の子どもの貧困対策として、どのような取組みが重要だと思いますか。効果が高いと思う取組みや、区が力を入れるべき取組み、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言期間の状況を踏まえて、必要だと思う取組み等について、自由に意見をお聞かせください。

⇒引き続き、「1.団体情報」にご回答ください。

1. 団体情報

貴団体に関する次の情報にご回答ください。

団体名（フリガナ）							
郵便番号	〒						
住所							
電話番号							
FAX番号							
Email							
ホームページアドレス							
代表者名（フリガナ）							
団体紹介 ※ 団体の概要、活動、支援対象者などの全般的な説明を、300文字以内で記入してください。							
団体・法人の種別 (ひとつに○)	1. 社会福祉法人		3. 公益財団／社団法人				
	2. 任意団体		4. 一般財団／社団法人				
	5. 特定非営利活動法人（NPO法人）・認定特定非営利活動法人						
	6. その他（下枠内にご記入ください）						
貴団体の運営に関わっている職員やボランティアなどのスタッフの人数（9月1日時点）について、それぞれ当てはまる選択肢ひとつに○をつけてください。							
常勤の有給スタッフ	1. 0人	2. 1～5人	3. 6～10人	4. 11～15人			
	5. 16～20人	6. 21人以上	7. 把握していない・わからない				
非常勤の有給スタッフ	1. 0人	2. 1～5人	3. 6～10人	4. 11～15人			
	5. 16～20人	6. 21人以上	7. 把握していない・わからない				
有償のボランティア	1. 0人	2. 1～5人	3. 6～10人	4. 11～15人			
	5. 16～20人	6. 21人以上	7. 把握していない・わからない				
無償のボランティア	1. 0人	2. 1～5人	3. 6～10人	4. 11～15人			
	5. 16～20人	6. 21人以上	7. 把握していない・わからない				

2. 子どもの生活応援などに関する活動・取組みの実施・検討状況（テーマ・領域）

問2-1 子どもの生活応援などに関する以下の活動・取組みについて、貴団体が実施しているもの（A欄）、実施を検討しているもの（B欄）に該当する、または近いと思う「活動テーマ・領域」に○をつけてください。
 複数の活動を実施している場合、該当する選択肢すべてに○をつけてください。

活動テーマ・領域	活動・取組みの具体例	A.実施	B.検討
1-1 すべての子どもが学びの機会を得られるよう学力保障や学習支援の取組み	基礎学力の向上の取組み、学習支援、補習教室、日本語教室、オンライン教室、フリースクール、不登校・発達障がいなど特定の対象者への学習支援等		
1-2 子どもの自立する力を育む経験の機会を提供	スポーツ、自然、芸術等の体験活動、リーダーシップ育成、ボランティア体験、職業体験、キャリア教育等		
1-3 進学支援や就学継続のための支援	進学支援、進路相談、奨学金・入学金・学用品等の支援、高校中退防止		
2-1 子どもの健康や生活を支える支援	子ども食堂など食事の提供、フードバンク、食材の提供、調理など家事・生活スキル育成		
2-2 保護者の生活・子育てを支援	子育て相談・講座、子どもの一時預かり、子どもの登園・登校支援、医療・健康相談、家計相談、家事援助、住居に関する支援		
2-3 貧困の連鎖を断ち切るための就労支援	生活困窮者、ひとり親世帯、ひきこもりの若者等特定の対象者に向けた就労相談、体験就労、インターンの受け入れ、就職先の紹介・あっ旋		
3-1 子どもの孤立防止に向けた支援、居場所づくり	子ども・若者を対象とする居場所、遊び場の提供、仲間づくり、不登校や引きこもりを含めた子ども・若者の悩み相談・支援		
3-2 保護者の孤立防止に向けた支援	親子や保護者向けの子育てサークル・サロンなどの居場所、仲間づくり、地域の見守りや訪問活動、DVや虐待等を含めた悩み相談・支援		
3-3 地域ぐるみで支える支援体制づくり	連携・ネットワークづくりの活動、子どもの貧困に関する講座開催・情報提供、世代間交流など地域づくりのイベント・活動など		
その他			

A欄（実施している）のみに「○」をつけた方は、
 「3. 活動個票」「4. 活動状況（共通設問）」にご回答ください。

A欄（実施している）とB欄（検討している）の両方に「○」をつけた方は、
 「3. 活動個票」「4. 活動状況（共通設問）」「5. 検討状況」にご回答ください。

B欄（検討している）のみに「○」をつけた方は、
 「5. 検討状況」にご回答ください。



3. 子どもの生活応援に関連する活動個票

1つ目の活動・取組み

活動・取組みを複数実施している場合、活動・取組み1種類につき1部ずつご記入ください。

問3-1 活動名・取組み名		問3-2 最も関連の深いテーマ・領域 ※問2-1のテーマ・領域の数字を記入。例:1-1			
問3-3【活動・取組みの概要】 ※実施している活動・取組みの概要をご紹介します。					
問3-4【活動開始年月】	西暦		年		月
問3-5【活動・取組みの対象者・利用者】年齢層（A欄）、対象者の条件（B欄）のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。					
A.年齢層（すべてに○）			B.対象者の条件（すべてに○）		
	1. 年齢層を限定していない		1. 対象者の条件を設けていない		
	2. 就学前の子ども		2. 障がい・発達障がいのある子ども・保護者		
	3. 小学生		3. ひきこもり・不登校の子ども・保護者		
	4. 中学生		4. 非行歴のある子ども・保護者		
	5. 高校生		5. 高校を中退した子ども・保護者		
	6. 大学生、専門学校生等		6. ひとり親世帯		
	7. 上記以外の子ども・若者		7. 外国にルーツを持つ子ども・保護者		
	8. 子どもの保護者		8. 児童養護施設出身者		
	9. その他		9. 上記以外の生活困窮世帯・生活保護世帯		
			10. その他		

問3-6【参加費用】参加者が負担する1回あたりの負担額（参加費）は、次のどれにあてはまりますか。

A.子ども（ひとつに○）		B.大人（ひとつに○）	
1. 無料		1. 無料	
2. ワンコイン、1～500円		2. ワンコイン、1～500円	
3. ～1,000円		3. ～1,000円	
4. 1,000円より多い		4. 1,000円より多い	

問3-7【活動・取組みの実施頻度】2019年の活動の実施頻度は、次のどれにあてはまりますか（ひとつに○）。複数の拠点で実施している場合、最も頻度が高い拠点についてお答えください。

1. 週5回以上		4. 2週間に1回程度		7. 1年に1～2回
2. 週3～4回		5. 1か月に1回程度		8. その他
3. 週1～2回		6. 数か月に1回程度		

問3-8【月平均利用者数】2019年の活動について、月の平均利用者数（延べ人数）は、次のどれにあてはまりますか（ひとつに○）。月単位で活動していない場合、月の平均に換算した延べ人数をお答えください。

1. 0人		4. 20～29人		7. 50～99人		10. 300人以上
2. 1～9人		5. 30～39人		8. 100～199人		11. 把握していない
3. 10～19人		6. 40～49人		9. 200～299人		

問3-9【大田区内の活動拠点・場所の名称および住所】
 ※大田区内での活動拠点が複数か所ある場合は、各活動拠点・場所についてご記入ください。
 ※拠点・場所の名称や住所を公開したくない場合は、住所非公開欄に「○」をつけてください。
 ※右の「エリア名一覧」を参照し、各活動拠点・場所の所在エリア番号を数字で回答してください。

(1)名称	エリア番号	住所	住所非公開
(2)名称	エリア番号	住所	住所非公開
(3)名称	エリア番号	住所	住所非公開
(4)名称	エリア番号	住所	住所非公開
(5)名称	エリア番号	住所	住所非公開
(6)名称	エリア番号	住所	住所非公開

エリア名一覧

1.大森東	10.久が原
2.大森西	11.雪谷
3.入新井	12.千束
4.馬込	13.六郷
5.池上	14.矢口
6.新井宿	15.蒲田西
7.嶺町	16.蒲田東
8.田園調布	17.糝谷
9.鵜の木	18.羽田

問3-10【活動・取組みの課題】活動・取組みの中で困っている、課題に感じることはなんですか（あてはまるものすべてに○）。

1. 特に困っていること、課題と感ずることはない	8. 支援対象者や利用者が思ったように集まらない
2. 活動・取組みを実施する人員（中核となる職員・スタッフ）が足りない	9. 活動・取組みをPRする場・機会が少ない
3. 活動・取組みを実施するのに必要なボランティアが足りない	10. 他団体との情報交換や交流の機会が少ない
4. 活動する場所・スペースがない	11. 専門性の高い支援を必要とする人を適切な相談・支援等の窓口につなげられないことがある
5. 活動資金・物資が足りない	12. 個人情報の扱いに課題がある
6. 活動・取組みの運営ノウハウが不足している	13. 危機管理体制（怪我・トラブル・事故等への対応）に課題がある
7. 活動・取組みについて地域内での認知・理解が進まない	14. 活動・取組みの拡大が種々の制約によりできない
15. その他：	

問3-11【子ども・保護者の変化】活動・取組みを行った結果、子どもや保護者にどのような変化がみられたと考えますか。あてはまる選択肢すべてに○をつけてください。

1. 進学することができた	6. 学びや就労等、社会生活の意欲が向上した
2. 就職することができた	7. 他者とのコミュニケーション力が向上した
3. 学力が向上した	8. 自尊心・自信が醸成された
4. 笑顔が増えた	9. 親以外に頼れる大人を増やせた
5. 将来に希望を持てるようになった	10. 健康・栄養状態の改善ができた
11. 様々な体験の機会を得ることを通じて生活の質が向上した	
12. 区や他の団体との連携により、公的な支援を受けられるようになった	
13. その他：	
14. わからない	

問3-12【活動・取組みの今後の展望】活動・取組みの今後の展望について、あてはまる選択肢すべてに○をつけてください。

1. 活動の拠点数や対象エリアを増やしたい	5. 活動の規模・質・内容を現状維持したい
2. 支援する対象者を広げたい	6. 活動・取組みの規模を縮小する予定
3. 活動・取組みの質を高めていきたい	7. 他団体との連携・協働を強化したい
4. 活動・取組みの実施頻度を増やしたい	8. 職員・ボランティアなど人材を増やしたい
9. その他：	
10. わからない	

3. 子どもの生活応援に関連する活動個票

複製記入用 () つ目の活動

活動・取組みを複数実施している場合、活動・取組み1種類につき1部ずつご記入ください。

※3つ以上の活動を実施している場合は、お手数ですがこの用紙をコピーしてご回答ください。

問3-1 活動名・取組み名		問3-2 最も関連の深いテーマ・領域 ※問2-1のテーマ・領域の数字を記入。例:1-1		
問3-3【活動・取組みの概要】 ※実施している活動・取組みの概要をご紹介ください。				
問3-4【活動開始年月】	西暦		年	月
問3-5【活動・取組みの対象者・利用者】年齢層（A欄）、対象者の条件（B欄）のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。				
A.年齢層（すべてに○）			B.対象者の条件（すべてに○）	
	1. 年齢層を限定していない		1. 対象者の条件を設けていない	
	2. 就学前の子ども		2. 障がい・発達障がいのある子ども・保護者	
	3. 小学生		3. ひきこもり・不登校の子ども・保護者	
	4. 中学生		4. 非行歴のある子ども・保護者	
	5. 高校生		5. 高校を中退した子ども・保護者	
	6. 大学生、専門学校生等		6. ひとり親世帯	
	7. 上記以外の子ども・若者		7. 外国にルーツを持つ子ども・保護者	
	8. 子どもの保護者		8. 児童養護施設出身者	
	9. その他		9. 上記以外の生活困窮世帯・生活保護世帯	
			10. その他	

問3-6【参加費用】参加者が負担する1回あたりの負担額（参加費）は、次のどれにあてはまりますか。

A.子ども（ひとつに○）		B.大人（ひとつに○）	
1. 無料		1. 無料	
2. ワンコイン、1～500円		2. ワンコイン、1～500円	
3. ～1,000円		3. ～1,000円	
4. 1,000円より多い		4. 1,000円より多い	

問3-7【活動・取組みの実施頻度】2019年の活動の実施頻度は、次のどれにあてはまりますか（ひとつに○）。複数の拠点で実施している場合、最も頻度が高い拠点についてお答えください。

1. 週5回以上		4. 2週間に1回程度		7. 1年に1～2回
2. 週3～4回		5. 1か月に1回程度		8. その他
3. 週1～2回		6. 数か月に1回程度		

問3-8【月平均利用者数】2019年の活動について、月の平均利用者数（延べ人数）は、次のどれにあてはまりますか（ひとつに○）。月単位で活動していない場合、月の平均に換算した延べ人数をお答えください。

1. 0人		4. 20～29人		7. 50～99人		10. 300人以上
2. 1～9人		5. 30～39人		8. 100～199人		11. 把握していない
3. 10～19人		6. 40～49人		9. 200～299人		

問3-9【大田区内の活動拠点・場所の名称および住所】

※大田区内での活動拠点が複数か所ある場合は、各活動拠点・場所についてご記入ください。

※拠点・場所の名称や住所を公開したくない場合は、住所非公開欄に「○」をつけてください。

※右の「エリア名一覧」を参照し、各活動拠点・場所の所在エリア番号を数字で回答してください。

(1)名称	エリア番号	住所非公開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> エリア名一覧 </div> 1.大森東 10.久が原 2.大森西 11.雪谷 3.入新井 12.千束 4.馬込 13.六郷 5.池上 14.矢口 6.新井宿 15.蒲田西 7.嶺町 16.蒲田東 8.田園調布 17.糺谷 9.鶉の木 18.羽田
住所			
(2)名称	エリア番号		
住所			
(3)名称	エリア番号		
住所			
(4)名称	エリア番号		
住所			
(5)名称	エリア番号		
住所			
(6)名称	エリア番号		
住所			

問3-10【活動・取組みの課題】活動・取組みの中で困っている、課題に感じることはなんですか（あてはまるものすべてに○）。

1. 特に困っていること、課題と感ずることはない	8. 支援対象者や利用者が思ったように集まらない
2. 活動・取組みを実施する人員（中核となる職員・スタッフ）が足りない	9. 活動・取組みをPRする場・機会が少ない
3. 活動・取組みを実施するのに必要なボランティアが足りない	10. 他団体との情報交換や交流の機会が少ない
4. 活動する場所・スペースがない	11. 専門性の高い支援を必要とする人を適切な相談・支援等の窓口につなげられないことがある
5. 活動資金・物資が足りない	12. 個人情報の扱いに課題がある
6. 活動・取組みの運営ノウハウが不足している	13. 危機管理体制（怪我・トラブル・事故等への対応）に課題がある
7. 活動・取組みについて地域内での認知・理解が進まない	14. 活動・取組みの拡大が種々の制約によりできない
15. その他：	

問3-11【子ども・保護者の変化】活動・取組みを行った結果、子どもや保護者にどのような変化がみられたと考えますか。あてはまる選択肢すべてに○をつけてください。

1. 進学することができた	6. 学びや就労等、社会生活の意欲が向上した
2. 就職することができた	7. 他者とのコミュニケーション力が向上した
3. 学力が向上した	8. 自尊心・自信が醸成された
4. 笑顔が増えた	9. 親以外に頼れる大人を増やせた
5. 将来に希望を持てるようになった	10. 健康・栄養状態の改善ができた
11. 様々な体験の機会を得ることを通じて生活の質が向上した	
12. 区や他の団体との連携により、公的な支援を受けられるようになった	
13. その他：	
14. わからない	

問3-12【活動・取組みの今後の展望】活動・取組みの今後の展望について、あてはまる選択肢すべてに○をつけてください。

1. 活動の拠点数や対象エリアを増やしたい	5. 活動の規模・質・内容を現状維持したい
2. 支援する対象者を広げたい	6. 活動・取組みの規模を縮小する予定
3. 活動・取組みの質を高めていきたい	7. 他団体との連携・協働を強化したい
4. 活動・取組みの実施頻度を増やしたい	8. 職員・ボランティアなど人材を増やしたい
9. その他：	
10. わからない	

4. 子どもの生活応援などに関する活動状況（共通設問）

【子どもの生活応援などに関する活動・取組みを実施されている団体にかかっています】

問4-1 連携状況	A.連携 している	B.今後 連携 したい
貴団体が、子どもの生活応援等の活動・取組みを行うにあたり、現在連携している関係機関（A欄）、今後連携したい関係機関（B欄）についてお答えください。 （それぞれあてはまるものすべてに○）		
1. 区や都の福祉関係部署（子ども家庭支援センター・キッズな、生活福祉課、児童相談所等）		
2. 区や都の教育関係部署（教育委員会、教育センター・スクールソーシャルワーカー等）		
3. 区や都の保健機関（保健所・地域健康課、精神保健福祉センター等）		
4. 区や都の就労支援機関（ハローワーク、JOBOTA、若者サポートステーション等）		
5. 社会福祉協議会、社会福祉法人		
6. 幼稚園、保育園、認証保育所、認定こども園等		
7. 小学校、中学校		
8. 高等学校		
9. 大学・専修学校等		
10. 医療機関		
11. 保護司、大森少年センター、更生保護機関等		
12. 民間企業、経営者団体（商工会議所、青年会議所）		
13. 民生委員・児童委員		
14. NPO、ボランティア団体（フリースクール、子ども食堂、学習支援等の活動団体を含む）		
15. 社会奉仕団体（ロータリークラブ、ライオンズクラブ等）		
16. その他		
17. 連携していない・連携する必要はない		
問4-2 子どもや家庭にとって重要だと思う取組みや支援の内容		
貴団体の活動・取組みで接点を持っている、特に厳しい状況にある子どもや家庭にとって、どのような関わりや支援が特に重要だと思いますか。		

5. 子どもの生活応援などに関する活動・取組みの検討状況

【子どもの生活応援などに関する活動・取組みを検討している団体にうかがいます】

問5-1 検討している活動・取組みの概要

検討している活動・取組みの活動内容、対象者、活動地域、開始予定時期などを、可能な範囲で記入してください。

複数の活動・取組を検討している場合、「検討1」「検討2」等、箇条書きで分けてご記入ください。

問5-2 検討段階での課題

活動・取組みを検討する中で、困っていることや課題に感じることはありますか。あてはまる選択肢すべてに○をつけてください。

<input type="checkbox"/>	1. 特に困っていること、課題と感ずることはない
<input type="checkbox"/>	2. 活動を実施する職員・スタッフが足りない
<input type="checkbox"/>	3. 活動を実施するボランティアが足りない
<input type="checkbox"/>	4. 活動する場所・スペースがない
<input type="checkbox"/>	5. 活動資金・物資が足りない
<input type="checkbox"/>	6. 活動の運営ノウハウが不足している
<input type="checkbox"/>	7. 支援対象者や利用者の集め方がわからない
<input type="checkbox"/>	8. 活動をPRする場・機会が少ない
<input type="checkbox"/>	9. 他団体との情報交換や交流の機会が少ない
<input type="checkbox"/>	10. 個人情報の扱いに課題がある
<input type="checkbox"/>	11. 危機管理体制（怪我・トラブル・事故等への対応）に課題がある
<input type="checkbox"/>	12. その他（自由記述）

アンケートは以上になります。

お手数ですが、調査票を同封の返信用封筒に三つ折りにして入れ、封をしてご返送をお願いします。

ご協力いただきありがとうございました。



大田区福祉部福祉管理課